

表紙のことは

すべてのものとの出会いは「一期一会」だと思っています。今、そのときにしか感じられない気持ちや見えたものをそのまま残すこと。そして感謝することを絵を描くことを通じて感じているのだと思います。

(牧田)

この絵は脳梗塞を呈した担当利用者の方が描いたものです。彼は幼少のころから絵に興味があり、病気になってから絵画を趣味として続けられていました。昨年も選出していたが、描画に対する意欲は向上しています。この虎の絵は、作者自身が気に入っているものです。どこか牧歌的で暖かいひなたにいるあどけない時期の虎がうまく表現されていると思います。(担当 OT：浦部)

牧田 勲 「眠たいボク」



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



丸茂 奈歩 「わたしの大好きなネコ」

わたしの家には4匹の保護ネコがいます。生まれたてのネコを預かり、そのまま自宅で飼うことになり、いつも一人で留守番をしながらネコたちの世話をしています。かわいいネコたちが大好きです。たまたま陶芸のワークショップで好きなものをつくっていいという日があったので、大好きなネコたちのお人形を陶器でつくってみました。陶器でお人形をつくるのははじめてだったのですが、形ができ、素焼きした後に色付けをしますが、本焼きをすると色が変わってしまうというので、仕上がりの色合いを想像しながら色塗りをしました。かわいくできたと思います。

(代筆：母 丸茂かつ江)